

第 65 回（2026 年度）研究発表会 若手優秀発表賞 受賞者

第 65 回研究発表会および現地見学会実行委員会

事業計画部

群馬大会において研究発表を行った若手発表者(申込時の年齢が満 35 歳以下)の中から、以下の方々を優秀発表者として表彰することといたしました。受賞者には、実行委員会より賞状と副賞を贈呈いたします。また受賞者による該当テーマに関する**学会誌論文投稿優遇措置(※)**を設けておりますので、研究成果の投稿をぜひお願いいたします。

■若手優秀発表賞 受賞者

【口頭発表部門（番号順）】

- ・ 2-13 Ashis ACHARYA (Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University)
「Thermo-hydrological monitoring of slopes using distributed fibre-optic sensing」
- ・ 3-2 柿沼 隼人 (弘前大学)
「攻撃斜面が斜面安定性に与える影響：3 次元斜面安定性解析による検討」
- ・ 3-4 松本 素 (群馬大学)
「山地斜面における樹木の影響を考慮した斜面安定解析の事例検証」
- ・ 3-18 岸本 海笛 (一般財団法人 砂防・地すべり技術センター)
「譲原地すべりににおける地下水排除工による降雨時の地下水位変動期間の変化」
- ・ 3-19 家田 満留 (国土防災技術株式会社)
「ボーリングコアにおけるすべり面周辺での X 線 CT 活用と観察事例」
- ・ 4-24 Jiajin ZHAO(趙 嘉進) (Kyoto University)
「Post-failure Liquefaction of Whitish Pyroclastic Fall Deposits and the High Mobility of the Takanodai Landslide」
- ・ ①-3 Yuanqi LIANG (Gunma University)
「Transfer-matrix analysis of anti-slide piles in multilayer foundations based on the k-method」

- ・ ①-8 Kosuke OKAWA (Kokusai Kogyo Co., Ltd.)

「Challenges and Approaches in Developing a Land Use Regulation for Slope Disasters in Honduras」

- ・ ②-8 近藤 圭悟 (株式会社建設技術研究所)

「計測データに基づく第三次クリープ開始予測に向けた二値分類の適用性検討」

【ポスター発表部門 (発表番号順)】

- ・ P-14 足立 隆之介 (東京都市大学)

「ベトナム中部 Khe Tre 山間部を対象とした AHP 法および Random Forest を用いた斜面崩壊サセプティビリティマッピングの試行」

- ・ P-30 高橋 大樹 (東京都市大学)

「林野火災跡地における集中豪雨を誘因とした表層崩壊の土砂移動プロセス—宮城県利府町菅谷地区丘陵地の事例—」

- ・ P-32 福田 蒼太 (群馬大学, 現: 一般財団法人 砂防・地すべり技術センター)

「山林火災の影響を模した斜面の遠心降雨実験」

- ・ P-44 矢野 樹生 (北海道大学)

「2012 年 3 月 7 日新潟県国川地すべり発生時の融雪状況の特異性の検証と地すべり発生誘因の検討」

■審査方法

【口頭発表部門】

候補者 33 名に対して、事前審査と当日審査を行った。事前審査は、候補者 1 名あたり 3 名以上の審査員により、講演要旨に対して 3 つの項目 (研究内容、研究レベル、原稿の完成度) について 5 段階評価で採点した。当日審査は、座長により、発表内容や質疑応答での対応についての評価を行った。事前・当日審査の総評をもとに、実行委員・事業計画部が表彰者を決定した。結果的に、合計得点上位の 9 名を表彰者とした。

【ポスター発表部門】

候補者 17 名に対して、事前審査と当日審査を行った。事前審査は、候補者 1 名あたり 3 名以上の審査員により、講演要旨に対して 3 つの項目 (研究内容、研究レベル、原稿の完成

度)について5段階評価で採点した。当日審査は、候補者1名あたり3名の審査員により、研究内容、ポスターの出来栄え、発表態度などについて評価を行った。事前・当日審査の総評をもとに、実行委員・事業計画部が表彰者を決定した。結果的に、合計得点上位の4名を表彰者とした。

なお、本表彰は、ポスター部門、口頭部門それぞれ複数回の表彰を行わないこととしている。

■審査員(順不同・敬称略)

・第65回研究発表会および現地見学会実行委員会・幹事会

若井明彦、新井場公德、木村勝美、樽角晃、林一成、西尾克人、村田郁央、経隆悠、牧野孝久、下河敏彦、松田昌之、白井大介、武田大典、山崎優、福地啓太、松田修、杉崎友是

・事業計画部

佐藤剛、土志田正二、茂木俊、井上宏、稲葉一成、大村泰、神山嬢子、楠本岳志、小林豊、相楽渉、佐藤達也、丹野正浩、沼宮内信、早川道洋、村上亘

・口頭発表座長

宇佐見星弥、大澤光、佐藤渉、平岡伸隆、長谷川陽一、土井一生、片山直樹、岡崎丈、鈴木真悟、曾野明洋、高澤忠司、渡壁卓磨、廣田清治、王功輝、笠井美青、美馬健二、江川真史、猪俣陽平、小暮哲也、井上敬資

※学会誌論文投稿優遇措置

受賞者が筆頭筆者として、受賞した発表に関連する内容の原稿(原稿区分は問わない)を日本地すべり学会誌に投稿する場合、その費用が免除される(ただし、カラーページ費用、超過ページ費用、別刷費用は免除対象に含まない)。優遇措置を受けられる期間は受賞から3年間である。受賞者にはこれを機に研究成果の投稿をお願いしたい。